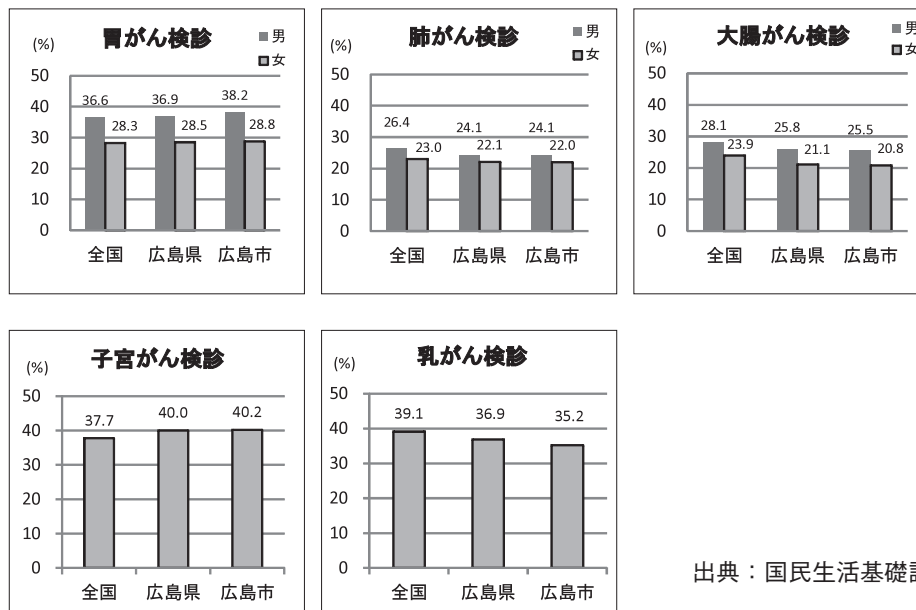


第1章 基本方針に基づく施策

1 基本方針① 生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組みます

■ がん検診受診率の全国・広島県・広島市比較（平成22年）



出典：国民生活基礎調査

【施策の方向性】

ア がんに関する知識の普及啓発

がんの発症を予防するため、栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙、飲酒等の生活習慣とがんの関係、がんに関連するウイルスや細菌に関する知識など、がんやがん予防についての正しい知識の普及啓発を行います。

主な事業・取組

(㊤：拡充事業)

主な事業・取組	概要の説明
がん講演会、健康教室、健康相談等	広くがんやがん予防に関する知識を普及啓発するため、保健センターにおいてがん講演会、健康教室、健康相談や禁煙相談等を実施する。
地域団体や医療機関等との連携による健康教室等（がん）	身近な地域において広くがん予防やがん検診の重要性を普及啓発するため、地域団体や医療機関等との連携を図り、健康教室等を実施する。
㊤学校、大学、専門学校等との連携による出前授業等（がん）	若い世代に向けてがん予防やがん検診の重要性を普及啓発するため、学校、大学、専門学校等との連携を強化し、出前授業やイベント等での啓発用リーフレットの配布等を実施する。
企業等との連携による健康教室等（がん）	従業員や家族、顧客等に向けてがん予防やがん検診の重要性を普及啓発するため、企業等との連携を強化し、健康教室や窓口での啓発用リーフレットの配布等を実施する。
子宮頸がん予防ワクチン接種時における普及啓発	子宮頸がん予防ワクチンの定期予防接種時に、子宮頸がんに関する情報提供を行うとともに、子宮頸がん検診の重要性についても普及啓発を行う。

* がんの発症を予防するための栄養・食生活、身体活動・運動などの生活習慣等に関わる分野ごとの施策については第2章で後述しています。